

1 a を正の奇数とする. 次の (i), (ii) をみたす整数 b, c の組がちょうど 3 組存在するような最小の a を求めよ.

(i) a, b, c は直角三角形の 3 辺の長さである.

(ii) $a < b < c$

2 平面ベクトル $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ は次の (i), (ii) をみたす.

(i) $\vec{a} \cdot \vec{c} = \vec{b} \cdot \vec{c} = -\sqrt{3} \vec{a} \cdot \vec{b}$

(ii) $|\vec{a}| = |\vec{b}| = |\vec{c}| = 1$

(1) $\vec{a}$ と $\vec{b}$ は平行でないことを示せ.

(2) $\vec{a} \cdot \vec{b}$ の値を求めよ.

3 $a > 0$ とする. xy 平面上に, 4 点 $(-8, 0), (-8, 1), (-9, 1), (-9, 0)$ を頂点にもつ正方形 P と, 4 点 $(0, -8), (1, -8), (1, -9), (0, -9)$ を頂点にもつ正方形 Q がある. 正方形 P は秒速 $\frac{1}{a}$ で x 軸の正の方向に移動を始め, 同時に正方形 Q は秒速 $\frac{1}{a^2}$ で y 軸の正の方向に移動を始める.

(1) 移動する 2 つの正方形 P, Q が決して共有点をもたないような a の条件を求めよ.

(2) 移動する 2 つの正方形 P, Q が, 時刻 t_1 から時刻 t_2 まで共有点をもつとき $g(a) = t_2 - t_1$ とし, 共有点をもたないときは $g(a) = 0$ とし, 関数 $g(a)$ を定める. 定積分

$$\int_{\frac{1}{2}}^2 g(a) da$$

の値を求めよ.

4 赤い本が 2 冊, 青い本が n 冊ある. この $n + 2$ 冊の本を無作為に 1 冊ずつ, 本棚に左から並べていく. 2 冊の赤い本の間にある青い本の冊数を X とする.

(1) $k = 0, 1, 2, \dots, n$ に対して $X = k$ となる確率を求めよ.

(2) X の期待値を求めよ.

5 次の [I], [II] のいずれか一方を選択して解答せよ. なお, 解答用紙の所定の欄にどちらを選択したかを記入すること.

[I] p, q を $p < q$ をみたす実数とする. 実数 a, b に対して, 2 次方程式

$$x^2 + ax + b = 0$$

のすべての解は p 以上 q 以下の実数である. このような点 (a, b) 全体からなる領域を ab 平面に図示せよ. また, その領域の面積を p, q の式で表せ.

[II] 放物線 $y = x^2$ のグラフ上に 3 点 A, B, C があり, $\triangle ABC$ は $\angle B$ を直角とする直角二等辺三角形である. A, B, C の x 座標をそれぞれ a, b, c とするとき, $a < b < c$ をみたす. また, 直線 BC の傾きを m とする.

(1) a, b, c をそれぞれ m の分数式で表せ.

(2) $c - b$ を最小にする m の値を求めよ.